

LudwigMasters Publications社出版  
保科洋作曲 「シンフォニック・オード」  
正誤表および追加演奏指示について  
2018/9/17版

譜面の追加、訂正 (b. は小節番号の略)

- b.53 1st Cort.のMuteは、ストレートミュートを使用。b.67でOpen。  
b.59 2nd、3rd Cort. カップミュートを使用。b.67でOpen。  
b.87 1st Cort. カップミュートを使用。152小節目でOpen。  
1st&2nd&3rd Tp. カップミュートを使用。119小節目でOpen。  
b.101 2nd&3rd Cort. カップミュートを使用。152小節目でOpen。  
b.196 1st&2nd&3rd Tp. ストレートミュートを使用。207小節目でOpen  
b.217 「a tempo」を追加。  
b.231-234 この間は8分の6拍子となり、指揮は二つ振り。b.235から4分の3拍子  
に戻ります。

ホルネット、トランペット、トロンボーン、ホルンについて

- ・ファンファーレを効果的に演奏するために、ホルネット、トランペット、トロンボーン、ホルンは図のような位置で演奏します。各楽器とも客席側が第一奏者です。
- ・ホルンは音が後ろに抜けてしまわないように、演奏会場で確認しながら位置を調整してください。
- ・曲の最初～b.26の1拍目までは、立って指揮者の方を向いて演奏してください。b.26の2拍目より、演奏しながら速やかに座ります。
- ・b.222で速やかに立ち、b.223より再び立って指揮者の方を向いて演奏します。
- ・b.227からは、楽器のベル、身体を、客席へ向けて演奏します（ホルンは身体の向きのみ）。曲の終わりまで、ベルアップした状態のまま、華やかにファンファーレを響かせてください。

